

## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	具体的実践には既に取り組んでいるが、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念とは言いがたい。	外部の人や新入職員が見ても“地域密着型サービスの意義を踏まえた”とわかる様な理念にしたい。	・定期会議において、運営推進会議で検討した内容を踏まながら、再度職員間で理念の見直しをする。 ・職員一人ひとりからの理念に対する想いや意見をアンケート形式で確認する。 ・職員全員の意見を踏まえた理念の見直しを、リーダーと管理者で行なう。	1年
2	38	入居者個々の思いの把握とその実現が不得手で、その為に、職員側の決まりごとや都合が優先される事も少なくない。	入居者個々の思いの把握に努め、実現困難な思い(家に帰りたい)への配慮もしながら入居者の生活の幅を広げたい。	・引き続きセンター方式を活用しながら、入居者の思いの把握に努める。 ・色々な方法を試しながら入居者が楽しいと思える時間を探していきたい。 ・他施設の取り組みについて、職員間で話し合いの場を設ける。	1年
3	45	夜間の入浴を希望する入居者がいるが、その実現に向けての検討を積極的に行なっていきたい。	入居者が、施設に入居する前の習慣を出来るだけ継続できるように支援をしたい。	・勤務時間の変更や食事時間・就寝準備時間の見直しも同時に行なう事で、夜間浴が可能かどうかの話し合いを職員間で行なう。必要であれば、勤務時間変更した状態で一定期間試してみる。 ・再度、入居者の入浴希望時間を確認する。	
4	33	退去の時期について、口頭で説明はしているものの、契約書等には記載されていない為、家族や見学者には施設の方針がわかりづらい。	退去の時期について、家族等が見てわかりやすいように説明し、より安心した生活を送ってみたい。	・施設としての退去の時期や入居の対象について、リーダーと管理者で再確認する。 ・施設としての退去の時期や入居の対象を契約書やパンフレットに記載する。 ・入居者が重度化した際に行なう家族との話し合いは記録として残していく。	1年
5	29	町内の催しへの参加や近隣への買い物など“楽しみ”を意識した地域資源の活用は積極的に行なっているが、“安全”を意識した活用は消極的である。	入居者が、一人の地域住民として地域で安心して過ごす為に、安全面を意識した取り組みを行なっていきたい。	・町内会の防災訓練に参加する。 ・施設での自衛消防訓練時には定期的に町内の人に参加してもらう。 ・一人で外出をする可能性が高い人の写真つき情報を近隣や交番に届ける。 ・町内の催しに参加する際は、催しの中心となっている方に、催しに参加している入居者の紹介を行なう事で、非常時の協力を得る体制を整える。 ・普段から、災害時の安全場所の提供や誘導協力について地域の人に依頼をしておき、災害時の協力体制を整えておく。 ・火災時などに地域住民が駆けつけた際、どの様なかたちで協力してもらうかという事について明確にし、訓練もそれをもとに、より実際に近い状態で行なう。	1年
	35	自衛消防訓練は以前より回数を増やし定期的に行なっているが、地域との協力体制を意識しながら、より実際に近い状態での訓練を積極的に行なっていきたい。			

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	13	職員の研修機会は十分に確保されているものの、OJTの機会が位置づけられていない。	事業所としての教育体制を整え、勤務年数に合った知識の向上を図りたい。	・職員育成プログラムをマニュアル化する。 ・同法人の特別養護老人ホームへの研修の機会を設け、情報交換とともに介護技術の習得を図る。	1年
6	11	新人職員に対する個別面談は実施しているが、それ以外の職員への面談は実施してなく、意見や想いを聞く機会は不十分である。	全職員の個別面談を実施する事で、より職員個々の想いや悩みなどを吸い上げ、職員の心身管理に役立てたい。	・職員個人面談の計画を立て、一ヶ月に2名程度を目安に、まずは全職員の個人面談を行なう。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。